

都市・住宅ワークショップも行われています

平成14年度都市住宅WS

商業WSと同時並行の形で、今年度は、街路や建物といった、街全体としてのイメージを考えていこうということで、都市住宅WSというものも行ってきています。

こちら、将来拡張される県道の道路空間をどうつくっていくか、どうしたら街に活気や潤いが生まれ、歩いてみたいと思わせる街路作りができるか、といったところからスタートし、の街路や建物のイメージを、模型を作りながら膨らませています。



Topic

街なか再生大学が開催されました！

街なか再生大学2002

去る平成14年9月26日～30日に、安慶名・街づくり推進センターにおいて、具志川市と街なか再生全国支援センター共催の形で開催されました。

全国から専攻分野も様々な学生が集まり実践的にセミナー形式でワークショップを行うのは全国初の試みとして、大いに注目を集め、テレビや新聞でも報道されています。

初日、校長を務める和田祐之区画整理促進機構理事長の挨拶から始まった今回の大学は、学生が各分野の専門家の講義を受けた後、安慶名の街を実際に歩いて回り、それぞれが安慶名の現状を把握するとともに再生に向けてのイメージを膨らませ、6つの班に分かれて夜遅くまで真剣な議論を重ねられました。

最後の夜は、睦会主催による謝恩パーティーも行われ、大いに盛り上がりました



WSの議論の様子



発表会の様子

編集後記

安慶名の街づくりも、様々な方々のご協力・ご支援を受け、着実にその歩を進めてきております。そして、決して後悔することのないよう、今後もしっかりと議論を行いながら、さらなる思い切った前進を続けていくため、今後とも、みなさま方のまちづくりへのご理解とご協力、ご参加をお願いいたします。

お問い合わせ先

まちづくりニュースの内容及びまちづくりに関するお問い合わせ・ご相談は下記までお尋ねください。

具志川市建設部市街地整備推進室
(098) 974 - 3111 内線 406

平成15年1月28日発行

安慶名地区まちづくりニュース

第2号

発行：具志川市建設部市街地整備推進室

新しい商店街づくりのイメージが生まれました。

～平成14年度商業ワークショップの成果～

安慶名地区のまちづくりは、昨年に引き続き、平成14年度も安慶名のまちづくりに関心のある地区内外の方に広くお集まりいただき、まちづくりワークショップを開催してまいりました。特に本年度は、商店街の再生を主に話し合う「商業ワークショップ」(以下、「商業WS」と、街路や建物等の街並みイメージについて語り合う「都市・住宅ワークショップ」(以下、「都市住宅WS」という場に分けて、それぞれ具体的な検討を行ってまいりました。

そして去る平成15年1月22日、本年度最後となる商業WSが開催され、一年間の検討の成果として、県道沿いの商業ゾーンにおける土地利用のあり方と、そこへ展開する施設の配置方針のイメージを描くまでに至りました。

ここにその内容をまとめ、ご報告します。

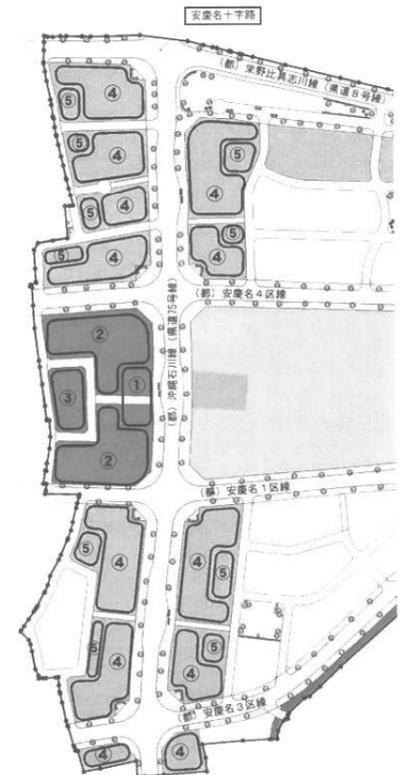
商業ゾーン土地利用及び施設配置方針(案)

商業拠点ゾーン

新たな商業集積に向けた共同化による街区形成を推進し、既存市場の再生を図るゾーン。
中央部の沖縄石川線に面する位置に広場を設け、にぎわい空間を創出します
店舗は敷地を集約した共同店舗を主体とし、1階を店舗、2階以上を住居とした施設構成とします
駐車場は店舗裏側に配置し、共同駐車場として管理・運営します

沿道型商業ゾーン

沖縄石川線沿道の商業地に相応しい既存店舗の再配置と街並み統一化を図るゾーン。
コミュニティを維持しつつ、特色ある店舗配置と景観形成を図ります
駐車場は店舗の裏側に集約配置します



平成 14 年度 商業ワークショップの成果

平成 14 年度商業WSでは、商店街の再生に議論の対象を絞ったなかで、各回ごとにそれぞれのテーマをもって行い、第 1 回の目指すべき商店街の将来像を描くところから、最終的には現状の把握に基づいて、具体的に整理後の商店街の施設配置について案をつくってみたいところまでを、一連の作業のなかで行いました。そのなかで、第 2 回では沖縄県内の商業地の事例を見たり、また代表者により東京・神奈川・静岡・滋賀・大阪各県への視察も行っています。

平成 14 年度商業WSの開催経緯

第 1 回 平成 14 年 8 月 1 日 (木) 「安慶名の商店街づくりを考える」

安慶名の商業に対する思いを全部出し、参加者が共有する

この回では、皆さんに自由に現在の安慶名商店街が抱えている問題点を出し合ってもらい、そこから、安慶名に欲しいものはなんだろうか、商店街の未来像をおおまかにイメージしてみました。

第 2 回 平成 14 年 9 月 6 日 (金) 「商店街の在り方と実現方策」

先進地との比較により安慶名の商業を考える

この回では、県内の先進地を実際に見て廻ることにより、新しいアイデアを得るとともに、第 1 回で描いたイメージをより大きく膨らませたり、より具体的にしてみる作業を行いました。

同日県内先進地視察実施
(那覇新都心、栄町商店街
北谷アメリカビレッジ、沖縄市パークアベニュー&コリガ)

第 3 回 平成 14 年 11 月 11 日 (月) 「商店街の施設配置イメージづくり」

先進地と米国事例を参考に安慶名の商業を考える

この回では、代表者による県外の先進地事例の視察報告や、学生による街なかに再生大学で挙げられた提案、さらにアメリカの事例を直接アメリカ人から聞いたりして見聞を深め、そこから足もとを見直して、将来の安慶名の土地利用や商業施設配置について具体的に考えるためのアイデアを練る機会としました。

県外先進地視察報告
米国メインストリートセンター スターニー氏講演

第 4 回 平成 14 年 12 月 9 日 (月) 「商店街の施設配置イメージづくり」

思想を形にしてイメージを構築する

前回から温めてきた新しい土地利用や、商業店舗や駐車場などの施設の配置についてのイメージを、各種施設を示すアイコンを使って設計図の上実際に並べてみるにより、具体的な街並みの姿を視覚化してみるとともに、そうやって出来上がった街並みを、現実のものにする方法や課題についても考えてみました。

今回の議論の中で、具体的な街づくりにおける施設配置方針としては、(合意が得られやすく、早期実現可能な)今の商店街と同じ配置型よりも時間や費用がかかっても、再生のためには大きな変化が必要として、

店舗配置の抜本的見直し型

で行おうということで意見がまとまり、表紙のようなイメージプランを選択するまでに至りました。

第 5 回 平成 15 年 1 月 22 日 (水) 「商店街再生に向けた今後の方向性」

北山創造研究所 鈴木 理恵氏講演

今年度の成果と今後の取り組み等

去年もお越しいただいた鈴木理恵さんに、東京・亀戸の自主的にイベントを企画運営して盛り上げ成功を収めている地区の事例を紹介してもらい、ハードだけに頼らない住民が主役の街づくりの必要性を再認識するとともに、今後のさらなる前進に向け、前回までの議論のまとめを行いました。

また、このような大幅な施設配置の見直しを行うにあたり、土地の再配置の手法として、想定される土地利用への参加希望者の土地を要望により意図的に集める「申し出換地」についての勉強も行いました。

